

2019年9月21日(土) 15:00-18:00

参加：14名

司会・文責：堀越

1. 概要：

- ・9周年を記念した本例会では、初参加6名を含む総勢14名で、「そもそもなぜ約束を守らないといけないのか」という問いを掲げ、主に理由として、美や尊さとの関係、相手との信頼との関係について対話し、考えた。

2. 対話：

(0) 問いの提起：

- ・進行役から、約束に関わる問いを前半に全員で決め、その上で対話したいと説明し、会を始めた。

(1) 参加者が約束を意識した／感じた事例（場面）：

- ・初めに、参加者から約束について意識したり感じたりした経験を挙げてもらった：
 - a) 友人と約束した待合せ時間を間違えてしまい、友人から「バカにしている」と言われ、数日後には友人から謝ってもらったが、友情が壊れてしまい、その後は普通の知人関係に変わってしまった。
 - b) 約束の待合せ時間から3時間待たされた挙句にその相手は謝りもしなかったが、仕事上の付き合いの人なのでその場では怒りを表すこともせず、普通の仕事上の付き合いを続けている。
 - c) 約束は広い概念である。個人 vs 個人間は約束・契約。個人 vs 会社間は契約。個人 vs 社会は法律？や義務等と階層がある。

(2) 約束に関係した問いの候補と問いの決定：

- ・以下の問い候補12の中から参加者全員の投票により、⑩項「そもそもなぜ約束を守らないといけないのか？」に決定した。
 - ① 恋愛、結婚、友情（友達）は約束で縛るものか？
 - ② 人間関係は約束で縛るものか？
 - ③ 約束を破られると怒るのはなぜか？
 - ④ 仕事のコミットメントが達成できないと約束を破ったことになるのか？
 - ⑤ （約束を常識とごっちゃにして）規範となっている常識を守れと怒る人がいるが、なぜか？
 - ⑥ ライオンが獲物を狩りするときの役割分担は約束か？（人間だけでなく動物も約束するのか？）
 - ⑦ 次のa)とb)は違うのか？
 - a) 本人が決めたこと（約束）を守るかどうか？
 - b) 本人が分かっていない規範・契約？・法律を守るかどうか？
 - ⑧ 約束と法律・規範・契約はどう違うのか？
 - ⑨ 暗黙の了解も約束に入るのか？
 - ⑩ 約束が守られないときにトラブルや後でもめるのは次のいずれかではないか？
 - a) 内容の認識のずれがある
 - b) 破られたときの処理手順が決まっていない
 - ⑪ そもそもなぜ約束を守らないといけないのか？
 - ⑫ なぜ人は約束を必死に守ろうとするのか？

(3) 約束に関係する具体的事例について

- ・結婚は相手との約束ではあるが、社会に対する一種の契約であると思う。
- ・約束の中には、結婚のように具体的にどんなことを約束するかを予め了解する例もあるが、携帯電話や保険の契約のように予め条文を良く把握しない例がある。

(4) 約束を守らないといけない理由は？

- ・「約束は守る・守らなければならない」と幼い頃に親から、あるいは、学校教育の場で教えられた。
- ・「なぜ約束を守らないといけないか？」を考えると、「相手になぜ約束を守ってもらいたいと思うか」を同時に考えるといいと思う。
- ・約束を守らないといけない理由は、仮に自分だけが守らなくても周りの人は守るので、後にトラブルになってしまうからである。
- ・待合せやペ切り等を約束する理由は、何時までに何かをやると自分を縛ることが色々なことを考えると楽だからである。約束を守る方が安心というか、リスクなしで暮らせるからである。
- ・待合せの時間をその所属員が半分位しか守らない社会を考えてみる。そうすると、その社会ではその他の色々なことが信頼できなくなってしまう、社会が崩壊してしまわないか。約束を守ることは社会の基盤になっている。

(5) 約束を守ることは美しいか？

- ・約束は破られてもペナルティがなく強制力がない場合がある。その場合は、自分が約束を守るとすれば相手も守ることを期待している。
- ・約束は一種の束縛であり、束縛は自由と反対の概念である。一方で、（その他の）自由のための束縛という側面もある。だが、（約束という）束縛を自由のための手段としない方法もあるはずである。
- ・ペナルティがなくても約束を守る。そういう行為に美や尊さを感じる。だから守るのではないか。
- 「走れメロス」が好例ではないか。メロスにとって約束は必ずしも守る必要がない、守ることは自分にとってマイナスであるにも関わらず、その約束を守る。ここには何か美や尊さを感じる。
- だが良く考えたい。自分が「美しく尊いことをしていると感じたい」という理由から、約束を守るのであれば、その行為自体は自己満足に堕してしまい、美や尊さから離れてしまうのではないか。

(6) その相手との信頼と関係があるか？

- ・約束を守らないとその相手との信頼関係が傷ついてしまうかもしれない。その約束が守られることは相手にとっては大したこともかもしれない。もしそういうことにならないなら、約束を守る必要はない。

相手との信頼関係を壊さないことは、自分にとって利益があるから、約束を守る。

- ・Aさんから見て（約束する相手である）Bさんとの信頼関係は、AさんにとってのBさん自身の重要性和という関係なのか。同じか違うか。
- 全く別である。仮に、AさんがBさんのことを本当に大事に思っていて、その結果、AさんはBさんがAさんとは別れて別の道を選択する方が良いと判断して、Aさんが意図的にBさんとの信頼関係を壊すという決断をした場合がその好例である。
- ・一度行った約束は、その信頼関係性を守るために随時アップデートされるものであり、アップデートできるはずである。だから約束は変化させていくことが重要である。なぜ今月台風の日にあんなにも無理をして会社に行こうとするのか。早々に行かないという判断ができたはずである。

(7) 約束を守ったときに心地良さや良い感じがする

- ・約束を守ったときに一種の心地良さや良い感じがする。それは、約束を守ったことによるのか、相手との信頼が維持されたことによるのか、まだ分からないがここに何かヒントがあるような気がする。
- 心地良さという表現について、痒い所を搔くときと約束を守るときに感じる心地良さは同じか。
- 痒い所を搔くときの心地良さは生理的な心情だが、約束を守るときに感じる心地良さはもっと理性的に受けてきた教育から来る心情ではないか。
- そうではなくて、もっと道徳的なカッコ良さではないか。
- ・約束を守ってもらえるとき感じる心地良さは、反対の場合に感じる怒りと比べて小さく、捉え難い。

(8) なぜ約束を守らなければならないのか？その1

- ・今までに出た下記の2つの場合ではどうも約束を守る理由が異なるように思う：
 - a) ペナルティがないのにその約束を守る場合（メロスのケース）
 - b) 待合せ時間の約束を人々が半分位しか守らない（同時に相手との信頼関係が壊れない）場合
- このb)の場合は社会が大変なことになるのではないかな。
- 社会全体がそれに慣れるから、大変なことにはならないのではないかな。
- 社会全体がそれに慣れても、自分の周りの人々から言われるリスクを避けようとするのではないかな。

(9) なぜ約束を守らなければならないのか？その2

- ・約束を守ることそれ自体は目的ではない。
- ・約束を守ることが他の事柄と比べて後回しになる場合や人がいる。だが誰もがそうではない。だからと言って、後回しになる場合や人が道徳的でない訳ではない。
- ・約束を守る理由は、その相手に迷惑をかけないため、迷惑をかけたくないからではないか。もちろんそういうことを気にしない場合や人もある。
- ・必ず約束を守った方が良い場合と、必ずしも約束を守らなくても良い場合がある。約束をする際には相手とそれらのレベルを合わせた方がよい。レベルが異なると後でトラブルになる場合がある。
- 相手の約束に対する期待値が高い例として、待合せ時間の後ろの予定が別にある場合がある。具体的には、飛行機に乗る時刻が決まっていって友達と空港まで一緒にタクシーで行く場合等が当てはまる。逆に、相手の約束に対する期待値が低い例として、飲み会等の開始時刻に間に合わない場合がある。相手に連絡を入れておくことで相手は先に始めておく等の対応ができる場合等が当てはまる。
- ・他者を大勢統率する場合には、約束を守ってもらうことは学校にとって都合が良い。
- ・約束を守ることが正しいと思う。守らないと罪悪感が残る。
- ・そういうニーズがあるからである。合意した時点から将来の時点で相手に何かをやって欲しい、そう期待したいというシチュエーションがある。だから約束を守る。
- ・約束を守らないとその相手が困る。だから約束を守る。その約束を守らなくても相手が困らなければ約束を守らなくても良いと思う。

(10) なぜ約束を守らなければならないのか？その3

- ・なぜ約束を守らなければならないか。相手に迷惑をかけたくない、迷惑をかけると相手との信頼関係が壊れてしまうリスクを恐れるから、約束を守るという考え方ができそうである。
- ・約束を守らない(8)項b)の社会を考えると、社会の基盤が崩壊すると言ったが、それは約束と関係しているのではなく、信頼と関係しているのかもしれない。約束を守るといことは意思の強さ、および、そのある程度の持続期間を想定させる。ある相手の意思がある程度続くことが期待されるということを目指す。そういうことが保障されない社会は、考えただけでも不気味である。
- ・約束と信頼はやはり異なる。予測が不可能な世界だったら、何もかもが根本的に信頼できなくなる。例えば、私は今日の前に水が入ったコップを見ていると思っているが、それは自分の視神経を誰かに操作されていて、本当は実在しないものが見えているという場合は、きっと私達にとっては何もかもが信頼できない世界となってしまう。
- ・人間は意思があるため、(相手にとっては) 予測不能な存在である。
- ・約束を守らないといけない理由は、この信頼と深く結び付いていて、その奥にもっと根深く、大きな概念が潜んでいるように思うが、それが何かはまだ定かではない。
- ・今の話を聴いていて、MacとWindows間ではOSが異なるために相互理解ができない。そういうOSの違いを連想した。

3. まとめ

- ・約束を守る理由として、その相手に迷惑をかけたくないから、迷惑をかけることによって相手との信頼関係を壊したくないから、との考えが出され、一応の納得感は得られた。だが、後半で出てきたもっと根深く大きな概念について対話しようとしたところで時間切れとなった。それについては参加者や読者の黙考に委ねたい。

以上